SONY

3-222-684-**02** (1)

ラジオカセットプレーヤー

取扱説明書•保証書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。

WM-FX200

ラジオカセットプレーヤー
WM-FX200
T11-1001A-1

主な特長

- TV（1〜12ch）も聴ける3**バンドチューナー**
- TV7局、FM8局、AM7局を記憶させてワンタッチで受信できる**プリセット機能**
- 重低音を豊かに再生する、MEGA BASS（メガベース）**機能**
- 耳にやさしい音量にする、**快適音量**（AVLS）

付属品を確かめる

- **ソニーマンガン乾電池R6P(SR)(2本)（お試し用*）**
- **ヘッドホン**

- **取扱説明書・保証書**
- **ソニーご相談窓口のご案内**

* 付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

安全のために

⚠警告

- 乾電池を持ち運ぶときは、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しないでください。乾電池の＋と－が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオカセットプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月〜金 午前9時から午後6時まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月

http://www.sony.co.jp/

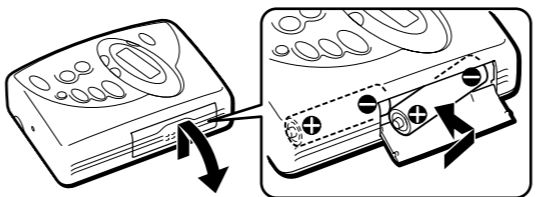
ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
- ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
- Fax ……………………………… 0466-31-2595

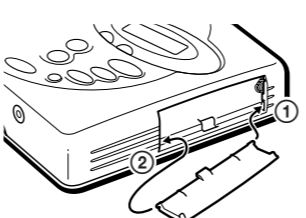
受付時間：
月〜金
9:00〜20:00
土・日・祝日
9:00〜17:00

準備する

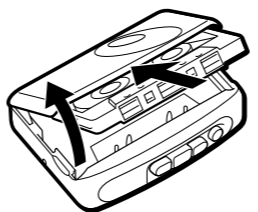
1 乾電池を入れる

単3形乾電池（2本）を、図のように⊕と⊖の向きを正しく入れてください。

単3形乾電池2本

ご注意
乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

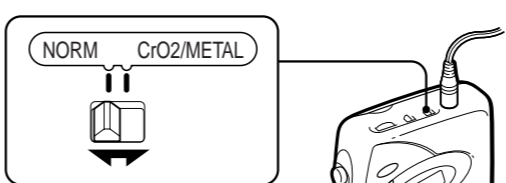
電池ぶたがはずれたときは
図のように取り付けます。

2 ヘッドホンをつなぐ

テープを聞く

1 カセットを入れる

①手でふたを開ける

②テープのたるみを取ってから奥まで確実に入れる

③ふたを閉める

2 NORM/CrO2/METALスイッチを切り換える

再生するテープに合わせて、「NORM（ノーマル）」または「CrO2/METAL（ハイポジション／メタル）」に合わせる

3 再生する

その他のテープ操作

操作	操作するボタンまたはスイッチ
停止*	■STOP
早送り／巻き戻し**	停止中に▶▶または◀◀

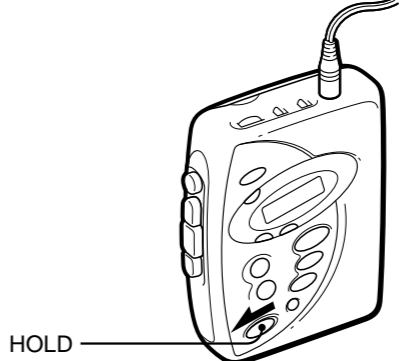
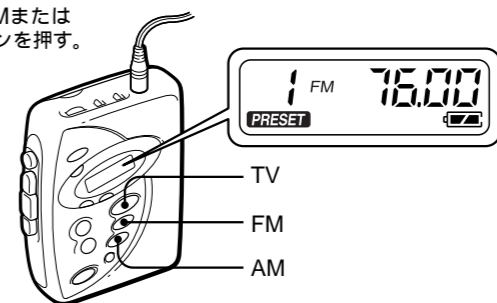
* 再生時は、テープが終わりまでくると自動的に止まり、電源が切れます（オートシャットオフ機能）。

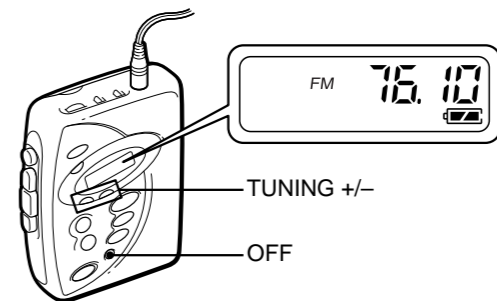
** 早送り／巻き戻しをしてテープが巻き取られたあとそのままにしておくと、電池が急激に消耗するので、必ず■STOPボタンを押してください。

[!] テープ走行中はカセットぶたを開けないでください。

ラジオを聞く

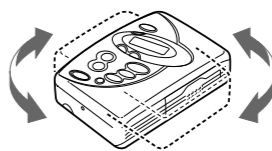
ご注意
テープが停止していることを確認してください。

1 ホールドを解除する

2 「AM」「FM」または「TV」を選ぶ

3 放送局を選ぶ

TUNING +/–をくり返し押して表示窓を見ながら周波数を合わせる。

TUNING +または–ボタンを長めに押すと、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります（自動選局）。電波が弱いときは、ボタンをくり返し押して周波数を合わせてください。

ラジオを消すには
OFFボタンを押します。

受信状態をよくするには

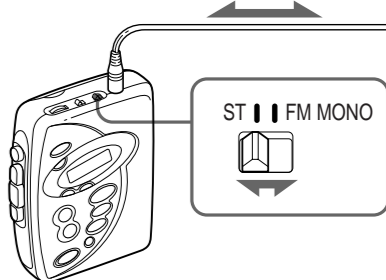
AM放送
アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、最もよく受信できる向きにしてお聞きください。

FM、テレビ放送
ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

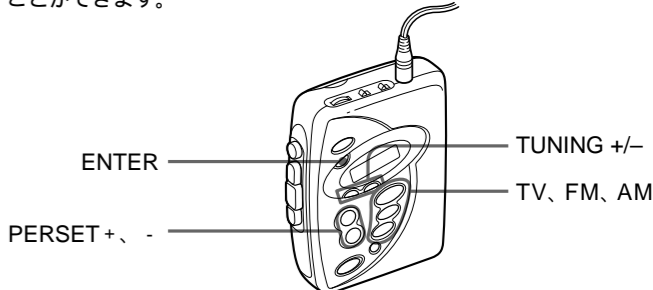
▶ラジオを聞く—応用

ラジオを聞くときのご注意

受信するとき

- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合はお近くのサービス窓口にご相談ください。
- 本体を他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、ラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部の金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなるときがあります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

ステレオ放送を聞くとき
ステレオ放送を聞くときはST/FM MONO切り換えスイッチを「ST」（ステレオ）に合わせます。雑音が多いときは「MONO」（モノラル）にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。また、AM、テレビはステレオにはなりません。

放送局を記憶させる

いつも聞く放送局をTV7局、FM8局、AM7局、合わせて22局記憶させることができます。

❐ 自動で受信して記憶させる（オートメモリースキャン）

受信できる局を自動的に記憶させます。受信状態のよい場所で操作してください。

1. TV、FM、AM**ボタンでバンドを選ぶ。**
2. ENTER**ボタンを2秒以上押す。**
   受信できる放送局が自動的に記憶されていきます。
   記憶が完了すると、周波数と表示が止まり、最後にプリセットされた番号が表示されます。

ご注意
電波が弱いときは記憶できる放送局が少ない場合があります。

（裏面につづく）

❐ 手動で受信して記憶させる（マニュアルメモリー）

1 TV、FM、AMボタンでバンドを選ぶ。
2 ENTERボタンを押す。
周波数表示とプリセット番号が点滅します。
3 表示の点滅中に、TUNING＋または–ボタンを押して記憶させたい周波数を表示させる。
4 表示の点滅中にPRESET ＋または－ボタンを押して記憶させたい番号を選ぶ。
5 表示の点滅中にENTERボタンを押す。

記憶させたい放送局ごとに、上記の手順をくり返します。新しい放送局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

放送局の記憶を消すには

1 「手動で受信して記憶させる」の手順1から2を行い、周波数表示とプリセット番号を点滅させる。
2 表示の点滅中にPRESET +または–ボタンをくり返し押して消したい放送局のプリセット番号を選ぶ。
3 表示の点滅中にTUNING +または–ボタンを押し続けて「– – – –」*を点滅させる。
*「– – – –」は最大周波数あるいは最小周波数の次に表示されます。
4 ENTERボタンを押す。

記憶させた放送局を聞く

PRESET +または–ボタンを押すだけで受信が簡単にできます。

1 TV、FM、AMボタンを押して、バンドを選ぶ。
2 PRESET +または–をくり返し押してプリセット番号を選ぶ。

▶*その他の機能を使う*

好みの音に調節する

❐ 低音を強調する

MEGA BASSを押して「MEGA BASS」を点灯させます。
音がひずんだように聞こえる曲では、音量を下げるか、もう一度押して、「MEGA BASS」の表示を消します。

❐ 音もれを抑え耳にやさしい音にする（快適音量）

AVLSスイッチを「LIMIT」にします。
AVLSを解除するにはAVLSスイッチを「NORM」にします。

❐ 誤操作を防ぐ（ホールド機能）

HOLDスイッチを矢印の方向にずらして誤操作を防ぎます。
ラジオのボタンとMEGA BASSボタンの操作ができなくなります。

▶*電源*

乾電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、電池交換お知らせ表示が点滅します。
テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなるので、乾電池は2本とも新しいものと交換してください。
乾電池は、別売りのソニーアルカリ電池の使用をおすすめします。

電池の残量がなくなってくると、表示でお知らせします（電池交換お知らせ機能）

表示	▭ →	▭ →	▭
意味	残量は充分です。	残量が少なくなってきました。	電池が消耗しています。しばらくすると、本体の動作が止まります。

電池の持続時間について (JEITA*)

使用乾電池	テープ再生時	ラジオ受信時
ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）**	約25時間	約40時間
ソニー乾電池R6P（SR）	約7.5時間	約14時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
（ソニーHFシリーズカセットテープ使用）
**日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6（SG）で測定しています。

ご注意
- 電池持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により短くなる場合があります。
- 乾電池の交換は3分以内に行ってください。3分以上経過すると、記憶した放送局は消えてしまいます。

▶*その他*

お手入れ

よい音でテープを聞くために

ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーを、ときどきお手入れしてください。
別売りのクリーニングカセットCHK-1WやクリーニングキットKK-WM1をご利用いただくと便利です。

►PLAYボタンを押し込む

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- 長い間本機を使わなかったときは、お使いになる前に数分間再生状態にして空回ししてください。
- 動作中はカセットぶたを開けないでください。テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。テープがたるんでしまったときは、必ずたるみを取ってから使用してください。
- 長時間テープについて
90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは、早めに使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターにご相談ください。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

万一故障した場合は、内部を開けずにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
テープが回っていても音が聞こえない	電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
ラジオが聞こえない	テープが回っている。	■STOPを押す。
音量が大きくならない	AVLSスイッチが働いている。	AVLSスイッチを「NORM」にする。
低音が強すぎたりひずんだように聞こえる	MEGA BASSが「ON」になっている。	MEGA BASSを「OFF」にする。
雑音が入ることがある	本機の近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などから離して使用する。
雑音が多く、音質がよくない	電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
	ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。	別売りのクリーニングカセットCHK-1W、クリーニングキットKK-WM1できれいにする。
音が途切れる雑音がする	ヘッドホンのプラグが汚れている。	プラグをきれいにクリーニングする。
	乾電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
FM の受信状態が悪い	——	ヘッドホンをしっかりつなぎ、のばして使う(「ラジオを聞く」参照)
AMの受信状態が悪い	——	本体を回して受信状態のよいほうに向ける。(「ラジオを聞く」参照)
表示窓の表示がおかしい	——	いったん電池を取り出して、3分以上たってから入れ直す。それでもおかしい場合は、電池を30分以上出したままにしておく。いずれの場合も、プリセット番号に記憶させた放送局は消えてしまいます。記憶させ直してください。

主な仕様

●カセットプレーヤー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲*	40〜15,000 Hz
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニ）ジャック1個 負荷インピーダンス　8〜300 Ω
実用最大出力（DC時）*	5 mW + 5 mW
電源	DC 3 V 単3形乾電池2個
電池持続時間*	乾電池の持続時間については「電源」をご覧ください。乾電池は、持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
外形寸法	約91.1 × 115.0 × 34.0 mm（幅/高さ/奥行き）（最大突起含まず）
最大外形寸法*	約91.4 × 115.5 × 35.0 mm（幅/高さ/奥行き）（突起部含む）
質量	約145 g（本体のみ） 約195 g（本体 + 電池）

●ラジオ部

受信周波数	T V（モノラル）：1〜12ch FM（ステレオ）：76.0〜90.0MHz AM（モノラル）：531〜1,710kHz

●別売りアクセサリー

クリーニングカセット CHK-1W、クリーニングキット KK-WM1、
ステレオイヤーレシーバー（ヘッドホン）MDR-E848V、MDR-E837V

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

各部のなまえ

●本体

1. AVLS（快適音量）スイッチ
2. VOLUME（音量）つまみ
3. ■STOP（停止）ボタン
4. ►►FF（早送り）ボタン
5. ►PLAY（再生）ボタン
6. ◄◄REW（巻き戻し）ボタン
7. PRESET +、–（放送局番号選択）ボタン
8. HOLD（誤操作防止）ボタン
9. ST/FM MONO切り換えスイッチ
NORM/CrO_2/METAL切り換えスイッチ
10. 🎧（ヘッドホン）ジャック
11. MEGA BASS（低音増強）スイッチ
12. ENTER（入力）ボタン
13. TUNING +/–ボタン
14. TVボタン
15. FMボタン
16. AMボタン
17. OFF（ラジオ電源切）ボタン

Preparations

To insert batteries

Slide and open the battery compartment lid, and insert two R6 (size AA) dry batteries with correct polarity.

Battery life (approximate hours) (JEITA*)

	Sony alkaline LR6 (SG)**	Sony R6P (SR)
playback	25	7.5
radio	40	14

* Measured value by the standard of JEITA (Japan Electronics and Information Technology Industries Association). (Using a Sony HF series cassette tape)
**When using Sony LR6 (SG) “STAMINA” alkaline dry batteries (produced in Japan).

Notes

- Replace the batteries when “▭” flashes in the display.
- The battery life may be shorter depending on the operating condition, the surrounding temperature and battery type.

Playing a tape

1 Insert a cassette and set NORM•CrO_2/METAL to match the tape type.

2 Press ►PLAY.
Adjust the volume with VOLUME.

To	Press
Stop playback	■STOP
Fast-forward or rewind the tape*	►► or ◄◄

*Note on fast-forward and rewind

If you leave the unit after the tape has been wound or rewound, the batteries will be consumed rapidly. Be sure to press ■STOP.

Note

Do not open the cassette holder while the tape is running.

Listening to the radio

1 If the HOLD function is on, slide the HOLD switch in the opposite direction of the arrow to unlock the controls.
Make sure that the tape has stopped completely.

2 Press TV, FM or AM to select the desired band.

3 Press TUNING + or – to tune in to the desired station.
If you keep pressing TUNING+/– for a few seconds, the Walkman will start tuning to the stations automatically.

To turn off the radio

Press OFF.

To improve broadcast reception

For FM, extend the headphones/earphones cord (antenna) or adjust ST/FM MONO.
For AM, reorient the unit itself.

Note

If the broadcast becomes noisy when a cassette with a metallic shell or label is inserted, remove the cassette.

Presetting radio stations

You can preset up to 22 stations — 7 for TV, 8 for FM and 7 for AM.

Tuning in to and storing radio stations automatically (Auto-memory scanning function)

1 Press TV, FM or AM to select the band.

2 Press ENTER for more than 2 seconds.
The Walkman starts searching and storing stations.
Then the preset number appears.

Presetting stations manually

You can preset stations in any order.

1 Press TV, FM or AM to select the band.

2 Press ENTER.
The frequency digits and a preset number flash in the display.

3 While the frequency digits and the preset number are flashing, tune in to a station you wish to store using TUNING+/–, and select a preset number using PRESET+/–.

4 While the frequency digits and the preset number are flashing, press ENTER.

To cancel the stored station

Follow the procedure above and in step 3, instead of tuning in to a station, press and hold TUNING + or – until "– – – –" is flashing. Press PRESET + or – repeatedly to select the preset number you want to cancel and press ENTER.

To play the preset radio stations

1 Press TV, FM or AM to turn on the radio and select the desired band.

2 Press PRESET+/–.

Using other functions

To emphasize bass sound

Press MEGA BASS.
“MEGA BASS” appears in the display.

To protect your hearing — AVLS

Set AVLS (Automatic Volume Limiter System) to LIMIT. The maximum volume is kept to down to protect your ears, even if you turn the volume up.

To lock the controls

Set the HOLD switch in the direction of the ▷ mark to lock the controls.
The hold function only locks the radio operation buttons and MEGA BASS.